

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 平成18年度
大項目: 基本目標 06 健全で自立したまちづくり
中項目: 基本施策 01 簡素で効率的な行財政運営
小項目: 施策 08 財政(財産管理関係)
事務事業名: 04 土地開発公社事業
このシート作成に要した時間: 1.5時間

事業の目的
対象(誰・何に対して): 公有地となるべき土地等の取得及び造成を必要とする事業
目的(何のために): 公共事業等における土地取得及び造成の円滑化を図るため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか): 保有土地の売却処分

事業の実績
細事業名: 財産維持管理業務, 経理業務, 調査報告業務, 貸付金業務
事業の説明: 市の依頼により先行取得した土地を長期間保有しているため、草刈作業を実施し周辺地域の環境に配慮するとともに、公共事業等への活用を図り、早期売却に努めている。
優先度: ◎, ○, ○, ○

事業費等
事業費: 必要人員(人件費) 0.10人, 事業費計 3,359千円
決算額: 国県支出金 2,732千円, 受入金 2,453千円, 繰入金 2,415千円
結果指標: 保有土地事業件数 3, 対前年比 66.7%, 活動コスト 3,359,000円, 単位当たりコスト 1,119,667円

事業の成果
成果指標名: 健全経営化
年度: 平成19年度(目標値90,実績値85.7,達成率105.02%), 平成20年度(目標値87,実績値82.6,達成率105.33%), 平成21年度(目標値84,実績値79.5,達成率105.66%), 平成22年度目標値80
成果指標設定の考え方・式や説明: 資産に対する負債割合を算出することにより、経営健全化の推進を図るため。(借入金/資産合計×100=%)

事務事業の評価
市との関与の妥当性の評価: D
市民ニーズ: 〇
効率性の評価: C
コスト: 〇
目的達成度の評価: C
市民参画度: 〇

進行年度(H22年度)の改革改善内容
状況: 〇
説明: 長期保有土地の早期処分に向け、関係団体等との買取り協議を実施するとともに、処分計画書を作成する。

総合評価
評価区分: <A~E>
総合評価: C
事業開始の目的が変化し、類似した事業もある中、5年以上の保有土地の処分が進まないため、計画的処分を実施し早期解散を目指す必要がある。

平成23年度の方向性及び取組目標
方向性: 〇
取組目標: 引き続き保有土地を計画的に処分していく。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

